

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月25日更新

事務事業名		再生資源集団回収助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名	上村 恭子
	施策の柱	62 ごみの発生抑制とリサイクルの推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11476	根拠法令	合志市再生資源集団回収助成金交付要綱 成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	子ども会等の再生資源の回収を行なっている団体に対し助成金を交付することにより、リサイクルの推進とともに菊池環境保全組合へのごみの搬入量を削減するために平成5年度より開始した。再生資源の回収を行なった団体に対し、回収量に応じて助成金を交付する。 助成金：10円/kg（古紙類、缶類、布類、ペットボトル）、10円/本（1升ビン）、8円/本（その他のビン） 平成19年度より対象品目にペットボトルを追加した。
【業務の流れ】	回収団体登録受付、助成金交付申請書受付、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金（補助金）、職員手当（時間外）、役務費（通信運搬費）
【意見や要望】	住民より有価物にならないものがある、単価の改正をして欲しいとの意見がある。子ども会などの活動回数が少なくなっている。自治会独自での取り組みを考えているが、人が集まらない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行なった主な活動) (DO) 子ども会総会や区長会、出前講座で事業説明を行い事業推進を行った。申請書受理、審査、支払い事務を行なった。補助金支払団体数 82団体。 今年度、新規の登録が4件あった。		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 再生資源集団回収団体に対し、平成26年度より開始した再生資源一時保管所設置補助事業を周知し、リサイクルへの利便性を向上させることで事業の推進を図る。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 申請件数	件	再生資源回収団体の収集量減少見込みに伴う補助金の減
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
資源物回収団体		→ ア: 資源物回収団体数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
資源リサイクルを推進する		→ ア: 助成を受けた団体数/登録団体数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
再生資源の集団回収を実施することで、資源リサイクルの推進に繋がることから、成果指標を「助成を受けた団体数/登録団体数」とし、目標値については登録全団体に実施してもらうことが重要であり「100%」とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア イ	件	152	149	168	152	155	155	155	155	
② 対象指標	ア イ	団体	84	87	91	87	88	88	88	88	
③ 成果指標	ア イ	%	97.6	97.7	100	98.8	100	100	100	100	
投資 事業 入費 量 人件 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	10,116	10,012	11,920	9,345	10,460	10,460	10,460	10,460
	(A) 事業費計	千円	10,116	10,012	11,920	9,345	10,460	10,460	10,460	10,460	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	5	0	5	5	5	5
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	5	0	5	5	5	5
	正規職員従事人数	人	0	5	5	7	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間	0	430	350	395	350	350	350	350
		(B)人件費計	千円	0	0	1,394	1,562	1,394	1,394	1,394	1,394
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,116	10,012	13,314	10,907	11,854	11,854	11,854	11,854	

事務事業名	再生資源集団回収助成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度的事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 少子化や、共働き世帯の増加などで地域活動（子ども会など）に関われる時間が減少し、活動自体が縮小傾向になっている。
	②30年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 目標値の「100%」は厳しいかもしれないが、目標達成に向け努力する。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 取組団体を増やすことで、さらに資源物の回収を進めることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 回収量に応じた助成金であり、削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 回収量の確認と助成金の支払い事務のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 子ども会、自治会に属する老人会などの団体に再生資源の回収量に応じて助成金を交付するので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 現在市がごみの減量化の推進しており、ごみの減量化に沿った事業である。再生資源の集団回収は子ども会、自治会の老人会等が行い、再生資源の回収量に応じ助成金を市が支払うことの役割分担は適切である。

3 評価結果の総括（CHECK）

平成29年度については、66団体（平成28年度84団体）に対して補助金の交付を行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							